



# 第7号

2019. 5. 17

エコビレッジ交流センター

風の館 さかのくち

昔、普通に飛んでいたコウノトリが、昭和四十六年、日本の空から消えました。日本において絶滅寸前まで生息が確認された場所が、兵庫県豊岡市と福井県小浜市、そして、越前（旧武生）市です。越前市はコウノトリにとってつながりが深いところですよ。

先日ようやく野外のコウノトリからヒナが誕生しました。福井県においては実に五十五年振りです。全国に野外の個体は百五十羽近く。手を抜けばまた絶滅してしまう個体数です。コウノトリが棲める環境は、人間にとっても安心安全に住める環境です。

当センターでは、コウノトリについての出前講座も承っております。「なぜ、今コウノトリなのか」「コウノトリが舞い降りる環境とは」「コウノトリ

の歴史」など、お気軽にご相談ください。

さて、自然界ではうまくいかないことばかり。今回もやっとヒナ誕生で喜んでいるさなか、オスの個体（たからくん）がメス（みやびちゃん）を寄せ付けなくなり、たからくんだけで子育てをしようとしています。ヒナに餌を運ばなくてはけません。ましてや、たからくん自体お腹がすきます。それなのに、みやびちゃんからヒナを守るためか、巣から離れません。（五月十七日現在）このままでは、ヒナはもろろんのこと、たからくんまです衰弱するでしょう。これも自然界では仕方がないことです。上手くいくことをただただ願うばかりです。

※たからくん、みやびちゃんのヒナはダメになりました。

## 講座の一コマ

4月22日（月）韓国から19名の方がお見えになりました。小規模校における環境学習や、地域との連携についてお話をさせていただきました。



4月6日（土）里山ピザづくり 14名



4月6日（土）里山の春を見つけよう 20名



5月15日（水）田植えをしよう 40名



4月27日（土）きれいに撮ろう里山風景 14名

